

マーケットの動き（2025年11月10日～11月14日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。
12日開催の経済財政諮問会議における高市首相の発言から金融緩和姿勢が意識され、日銀の利上げ観測が後退したことなどから円が売られました。さらに、同日（米国時間）にトランプ大統領が、米連邦政府機関の一部閉鎖を終わらせるつなぎ予算に署名したことなどから米ドルが買われ、週を通じて円安基調となりました。
ユーロは前週末比、対円・対米ドルで上昇しました。

投資環境見通し（2025年11月）

円に対して米ドルは徐々に水準を切り下げ、ユーロは弱含み

米ドル：世界的な投資家のリスク選好の動きから、ドルは円に対して当面は底堅く推移するとみています。しかし、日銀による利上げ姿勢に加えて、為替レートの動向と水準次第では日米通貨当局が警戒感を強める可能性もあり、その後のドルは円に対して徐々に水準を切り下げるとみています。

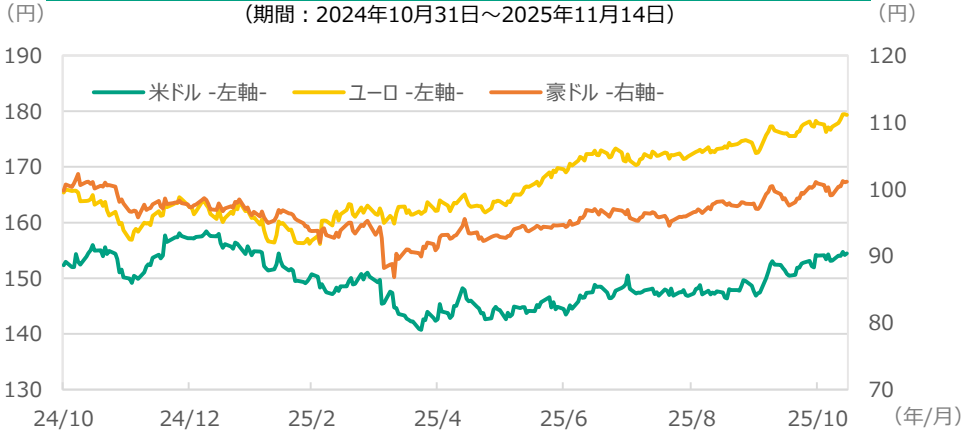
ユーロ：域内各国の財政政策を背景に景気は緩やかに回復するとみています。一方で金融政策については、ECB（欧州中央銀行）の様子見姿勢、日銀の利上げ姿勢を背景にユーロは円に対して弱含みで推移するとみています。

	11月14日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	154.44	1.29	2.59	8.12	▲1.53
ユーロ/円	179.35	2.11	3.29	15.27	14.40

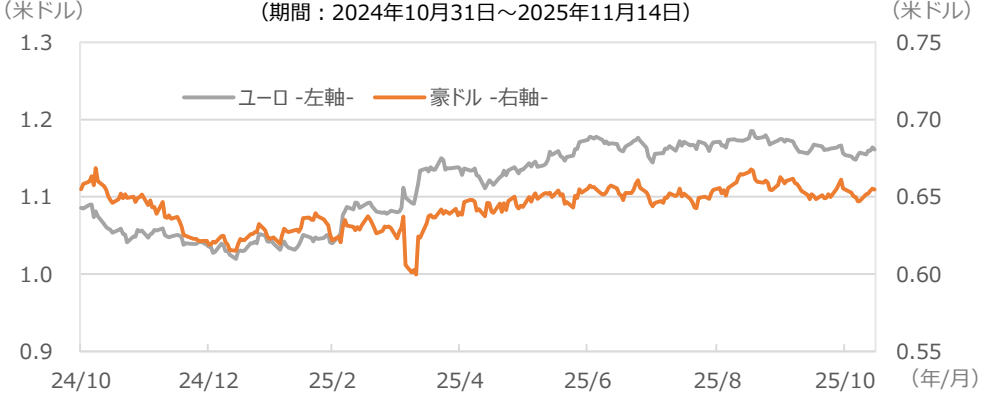
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202511_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>